

## 第16回糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和元年12月25日(水) 15時30分から
- 2 会場 糸魚川市役所 庁議室
- 3 出席委員
- |     |       |
|-----|-------|
| 教育長 | 井川 賢一 |
| 委員  | 永野 雅美 |
| 委員  | 靄本 修一 |
| 委員  | 谷口 一之 |
| 委員  | 塚田 京子 |
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員以外の出席者
- |        |              |            |  |
|--------|--------------|------------|--|
| 教育次長   | 磯野 茂         |            |  |
| こども課   | 課長 磯野 豊      | 課長補佐 室橋 淳次 |  |
|        | 係長 田代 正人     | 主査 水嶋 絵巨   |  |
| こども教育課 | 課長 泉 豊       | 参事 富永 浩文   |  |
|        | 課長補佐 松村 伸一   |            |  |
| 生涯学習課  | 課長 小島 治夫     | 課長補佐 磯貝 恭子 |  |
| 文化振興課  | 課長 伊藤章一郎     | 課長補佐 伊藤 伸一 |  |
| 博物館    | 館長 竹之内 耕     |            |  |
| 市民会館   | 館長補佐 猪股 和之   |            |  |
| 書記     | こども課主査 佐藤 恵美 |            |  |
- 6 報 告
- 報告第 32号 感染症の集団発生について
- 報告第 33号 各課・機関所管事項について
- 7 付議案件
- 議案第 86号 糸魚川市青少年育成指導員規則を廃止する規則の制定について
- 議案第 87号 糸魚川市文化財の指定について

8 会議録署名委員の指名 1 番 永野委員

9 傍聴者 1 人

教育長

これより第16回教育委員会定例会を開会する。

教育長

報告第32号感染症の集団発生について、事務局の説明を求める。

こども教育課参事

(資料に基づいて説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

報告第33号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。

こども課 所管事項報告

こども教育課 所管事項報告

生涯学習課 所管事項報告

文化振興課 所管事項報告

図書館 所管事項報告

博物館 所管事項報告

市民会館 所管事項報告

規則等の制定・改正・廃止

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

永野委員

学校ごとに始業式や終業式の日程が違うことで何か問題や気づいた点はあったか。また、今後も同様に学校ごとに決定されるのか。

こども教育課参事

条例により、長期休業の上限や最低限が定められており、その限度内で長期休業を取ることができる。その他は、校長の裁量で、学期の開始日、終了日を決めることができる。

現状では、各中学校区を中心に統一しているが、一部、学校事情により、変更している場合もある。

今年度から冷房の完備により、学習環境が整備され、涼しい環境で2学期がスタートできるようになり、夏休みを少し短くし、子どもがすぐに学校生活に慣れていけるよう配慮した学校がある。また、早く始める上で、緩やかに子どもたちを学校に馴染ませるために、3日間ほど半日授業を行い、午後は職員研修や長期休業中の課題の整理に充てるなど、子どもたちの緩やかな適用と、職員の業務の負担軽減で配慮できた。学校の規模により、早く始めることができる学校と、ゆっくり始めた方がいい学校もあるため、学校の実情に応じ決定する。

永野委員

保護者からの意見は何かないか。

こども教育課参事

夏休みは、いち早く学校へ通ってほしいという意見は多くある。今のところ保護者からも、否定的な意見は、特に聞いていない。

永野委員

糸魚川市内で、あまり差がないよう、いろんな意見を聞き、一番良い方向へ進めてほしい。

蘆本委員

市内高校3校合同の「地域の声を聞く会」は、数年前から取り組まれており、現在の高校をみんなに知ってもらうため、生徒たちが地域と密着する勢いが、いろんな場面に出てきたことをうれしく思う。その会での意見がまとめてあれば、情報提供してほしい。

こども課管理係長

「地域の声を聞く会」に教育委員会も参加した。参加者は小中学校の校長、高校3校の保護者会関係者、能水会、小中学校のPTAが主だった。清崎地区と上刈地区の自治会からの参加もあったが、地元企業の参加は少なく感じた。

会の内容は、各学校の取り組みを、スライドを使った説明と、地域活性化策についてグループワークを行った。意見としては「地元企業との交流が少ない」「地域が学校行事に関わる機会がない」「地域として学校に何ができるか」などがあった。概要はまとまり次第、お示ししたい。

蘆本委員

先日、OECDのPIISA学力調査の結果が発表され、高校1年生の読解力に大きな課題があると強調されていた。陰山メソッドの陰山先生も、この問題をいち早く研修会参加者に情報提示していた。高校生の読解力は、その前の中学生や小学生の読解力をどのようにつけさせるかを考えなければならない。

小学生や中学生の読解力は、環境が大事である。特に新聞を読む習慣、新聞を活用した授業の機会が、もっと積極的に必要だとする分析が非常に多い。新聞を購読していない家庭も多く、学校で新聞が読めるような状況はあるか。教育委員会で子どもたちの新聞に対する環境を把握しているか。

図書館の利用実態については、図書館司書が巡回しており、学校訪問でも図書館の充実が非常によく分かった。図書館司書により、子どもたちが図書館を非常に身近に感じ、明るい図書館になったとも聞いている。

「新聞は学校で読める」「授業で活用する」といった環境づくりをすところから、読解力を高めるための土台ができていくのではないか。

こども教育課参事

PIISA調査の学力低下問題は、ネットメディア依存が裏にあり、活字離れ、読書離れが、とても深刻な問題としてクローズアップされている。家庭教育として、家庭でも活字に触れる環境づくりに改善が必要である。学校では図書館の環境や授業での新聞の活用、また読書活動の啓発を一層高めていきたい。新潟日報の「ふむふむ」や「ふむふむJ」といった子ども向け新聞を掲示したり、閲

覧できるようにしている学校もある。子どもたちに新聞等を閲覧する環境を与え、活字に親しむことはすごく大事であるため、推奨していきたい。

また、教育委員会でも、活字だけでなく、これまでの教師主導の授業ではなく、子どもたちが資料をもとに、アクティブラーニングを導入し、討論を中心に、読み取ったことでディスカッションできる学習を、陰山メソッドと同様、授業改善を進めていきたい。

高校生の学びも、アクティブな形になってきている。これまでの受け身な学習から、どんどんアウトプットしていく学習になって、とてもいい光景だと思っている。

靄本委員

子どもたち向け新聞は多数ある。子どもたちと相談しながら、図書と同様に新聞も購読できる環境を整えていってほしい。各学校で取組はバラバラである。教育委員会で状況を把握し、取り組んでほしい。

靄本委員

小学校の健康教室が1月23日田沢小学校で予定されている。生活リズムも含めて、子どもたちの心身の健康、安全、食育、運動と様々な部分が、この健康教室に盛り込まれている。学校では学校医を中心とする学校保健委員会があり、健康教育上の課題解決に努めている。健康教室と学校保健委員会がタイアップした取組ができないか。

こども課主査

健康教室は「早寝早起きおいしい朝ごはん事業」を小中学校で普及をさせる目的で行っている。保護者に広めることを中心とし、各学校の実情に応じ、保護者が多く集まる機会に実施している。

靄本委員

学校保健委員会は、養護教諭が中心となり、保護者の代表や、子どもたちの代表、校医、薬剤師が集まり、学校のデータをもとに、課題解決のため、改善策を話し合う。その内容は「学校保健委員会だより」等で各家庭や地区に啓発されるが、この健康教室は、あまり発信がないように感じる。学校とよく相談し、学校だより等にその健康教室の内容を特集してもらえばどうか。ぜひ検討してほしい。

こども課主査

今年度は15校の申し込みがあり、PTA総会や、参観の後に実施し、できるだけ多くの方に聞いていただけるよう調整をしてもらっている。今後も各学校の実情に応じて、養護教諭と相談しながら進めていきたい。

教育長

課題は、関心がない人にいかに伝えるかである。先ほどの委員の意見も参考にしながら、今後の健康教室の運営に役立てていきたい。

谷口委員

子ども一貫教育基本計画見直し検討委員会について、どんな方向性で、どのような話がされているか、現状と今後の展望を教えてください。

こども教育課参事

見直しであるため、基本的な柱は、これまでどおり変更はない。特に、グランドデザインに込められた願いや目標は、継続していく。現在の課題は、メディアの問題や、家庭教育の充実が挙げられる。また、高校生でのキャリア教育やジオパーク学習について、より充実させていきたい。

学力面では、陰山メソッドの集中、反復、集中速習をより分かりやすく明文化し、また、新しい教育学習指導要領に対応した内容として盛り込んでいる。そして、システム的には、今までの「連携・協力」の立ち位置から、より三者が目標を共有し、役割分担を明確にし、その成果をお互いの成果にも変えていく「協働」へと移行させたい。パブリックコメントでは特に意見はなかったが、教育の立場で学校から、今日的な課題や学習指導要領の改訂から、たくさんの意見をもらっている。担当者間で話し合いながら、訂正や改善を検討したい。

こども教育課長補佐

1月14日に検討委員会が開かれ、検討したものを最終素案として、教育委員から事前にご覧いただく予定でいる。

鶴本委員

12月23日「総合型地域スポーツクラブ学習会」に参加した。参加者も52名と大変多く、興味関心を持つ方が非常に多いことを感じ、糸魚川市のスポーツの未来に希望が持てた。

これからどのような計画で、どんな形になるか見通しを知らせることで、さらに参画の輪を広げていける。新しい総合型スポーツクラブに向け、動き出していることを市民へ発信してほしい。また、講師の水嶋先生も、かなり思いの熱い方であるため、糸魚川市のスポーツに携わる人材として大切にしてほしい。

生涯学習課長

予想以上に参加者が多く、驚きと同時に、みなさんの強い思いを知った。当日のアンケート結果をもとに、水嶋先生と打ち合わせをし、今後のスケジュール等も含め、会議の持ち方など検討しようと思う。以前は、「やろう」という意識が強すぎてしまい、偏ったやり方で、なかなか広がりがなかった。それを反省に今回は、できるだけ緩やかに、まず「総合型地域スポーツクラブとは何か」といった説明会であった。そのため、アンケートには「理解している」「理解できた」のコメントが多かった。ただ、他の設問を見ると少しズレもあり、今一度、基本的な部分を学習した上で、次のステップへ進みたい。

参加者は、所属している団体に有利な方向へ考えてしまいがちであったが、そうではないことを理解してもらい、進めていきたい。

皆さん関心を持っているため、時間を置かず第2回学習会を開催したい。

鶴本委員

これからの学習会の進め方は、公民館や福祉関係、または学校関係で校長会など、スポーツ関係者だけでなく、様々な分野の団体に

も、総合型スポーツクラブの学習会を実施してほしい。競技スポーツだけでなく、他でも広めてもらおうと、また新しい形のスポーツクラブが生まれてくる。積極的に行動してほしい。

教育長

ジュニアのスポーツ団体の話が出ると、どうしても選手確保等に動いてしまうが、もう少し上の世代に目を向け、中高年や高齢者になる方が様々なスポーツに親しむ中で、将来の介護予防や健康づくり、健康寿命の延伸につながる部分も説明すると、もう少し分かりやすくなると思う。

生涯学習課長

競技スポーツだけでなく、スポーツは楽しいものである。小さい頃から「体を動かすことは楽しい」と運動嫌いにならないような仕組み作りや、大人になっても続けられるよう、スポーツに関心を持ってもらう方向へ進めていきたい。

塚田委員

子ども・子育て会議は、どんな会議であるか。

こども課長補佐

子ども子育て支援法に基づき、市で設置する会議である。主に保護者を中心に、そのほか校長会や、保育士、PTAや商工会議所からも参加をいただいている。14人の委員で構成され、主に「子ども子育て支援事業計画」を作成するにあたり、意見を聞く場となっている。「子ども子育て支援事業計画」は、子ども子育て支援新制度に基づき、保育園の利用状況を市でしっかりと把握し、園の入園体制を確保しており、具体的な計画を協議する会議である。年2回程度の開催で、今年度は来年度からの新たな5ヵ年に向け計画を検討する内容で、3月にも開催する予定である。

教育長

ほかにご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

議案第86号糸魚川市青少年育成指導員規則を廃止する規則の制定について、事務局の説明を求める。

生涯学習課長

(資料に基づいて説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

靄本委員

指導員等には説明をし、納得はいただいたのか。

生涯学習課長補佐

育成指導員会議でも説明している。一旦はボランティアの形で広く募集をするが、指導員の中には、自分たちで何か団体を作り、また関わっていける方法はないかという意見もあるなど、ご理解をいただいている。

靄本委員

今まで尽力いただいた指導員の意欲が喪失する雰囲気ではないようなので安心した。

塚田委員

今まで育成指導員が携わっていた事業はどうなるのか。

生涯学習課長補佐

これまで同様「わくわく探検隊」や子どもの事業については、引き続き核となり、指導や協力いただくことについて快諾を得ている。

教育長  
委員  
教育長  
委員  
教育長

ほかにご質疑はないか。  
（「なし」の声あり。）  
それでは採決に入る。議案第86号についてご異議はないか。  
（「異議なし」の声あり。）  
異議なしと認め、承認する。

**原案のとおり承認**

教育長

議案第87号糸魚川市文化財の指定について、事務局の説明を求め  
る。

文化振興課長  
教育長  
靄本委員

（資料に基づいて説明）  
今ほどの説明について、ご質疑はないか。  
文化財に指定されても所有者のお宅に保管されるのか。また、そ  
の維持管理については、特別な配慮が必要であると思うが、財政的  
な面で補助金等はあるのか。保存に関して、定期的な点検等の予定  
や文化財としてどんな取扱をされるのか。

文化振興課長補佐

様々な方法があり、例えば糸魚川市へ寄贈していただいた文化財  
については、糸魚川市で適切に管理することとなるが、今回は来訪  
者にもご覧いただきたいご意向もあり、「内川屋」事務所の壁に展  
示されている。企画展等の際には、借用できるようお願いしている。  
また、文化財保存のための補助金等は、現状ではない。基本的に所  
有者が適切に管理することが、文化財の考え方である。他の文化財  
においても、今後、維持管理が難しいといった相談があった場合は、  
検討していく。

靄本委員  
文化振興課長補佐  
教育長

糸魚川市文化財の指定証書等はあるものなのか。  
通知書が発行される。  
市の文化財がまとめられた冊子があるが、改定等の予定はある  
か。

文化振興課長補佐

文化財施設の冊子があり、平成20年頃の編集から10年経過してい  
る。追加案件や、滅失等したものもあるため、更新を考えなければ  
いけない時期だと思っている。

教育長  
委員  
教育長  
委員  
教育長

ほかにご質疑はないか。  
（「なし」の声あり。）  
それでは採決に入る。議案第87号についてご異議はないか。  
（「異議なし」の声あり。）  
異議なしと認め、承認する。

**原案のとおり承認**

教育次長

次回教育委員会定例会開催日  
令和2年1月28日（火）14：00より

生涯学習課長	その他 東京2020オリンピック聖火リレーについて報告する。 (資料に基づいて報告)
教育長 委員	今ほどの報告について、ご質疑はあるか。 (「なし」の声あり。)
こども課長補佐	東京歯科大学との包括的連携協定に関する協定締結について報告する。 (経過等を報告)
教育長 委員	今ほどの報告について、ご質疑はあるか。 (「なし」の声あり。)
教育長	以上で第16回糸魚川市委員会定例会を閉会する。

16:55 終了